

所管	事業名称	事業の目的・効果	総事業費（交付対象）
健康推進課	臨時特別出産祝い金	特別定額給付金の対象とならない今年度出生した者に給付し出生者世帯の経済効果を図る	315万円 <b>(300万円)</b> 他15万円
	敬老頑張る商品券配布事業	行事等の自粛で外出機会を喪失した高齢者の外出機会を創出し、村内で経済効果を図る	1296.9万円 <b>(1280万円)</b> 他16.9万円
	必要物品供給事業	感染症蔓延で不足する関連商品の補填	52.1万円 <b>(50万円)</b> 他2.1万円
保育所	非常用備蓄食料	感染拡大により副食用食材搬入が一時的に停止された場合、備蓄食を保育所に備えておく	100万円 <b>(90万円)</b> 他10万円
政策企画課	中松小サテライトオフィス整備事業	廃校となる小学校をサテライトオフィス等として活用するための整備	2550万円 <b>(2500万円)</b> 他50万円
	庁内Wi-Fi整備	感染防止のためのオンライン会議環境を整備する	92.2万円 <b>(80万円)</b> 他12.2万円
総務課	サーマルカメラ等整備事業	村内で不特定多数の出入りが予想される施設等での感染防止策事業	700万円 <b>(680万円)</b> 他20万円
	避難所物品整備事業	避難所内の感染防止対策物品の整備	287万円 <b>(280万円)</b> 他7万円

この他にも次回議会で補正予定の事業（交付金対象額 3167.2万円）も含め、村ではこの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（2次分約2億8000万円）を活用した対策事業を行っていく。

現在、1人1人が日常的にマスク着用、こまめなうがい、手洗いを心がける事等、新しい生活スタイルによりインフルエンザの感染者が昨年の1000分の1程度であり、感染症予防に有効だと考える。

## 議会活動

### （1日も早い復旧を願って）義援金を届けました。

『令和2年7月豪雨』では4日に県南地域、また、6日、7日には阿蘇北部地域で甚大な被害をもたらしました。本村議会を代表して荒牧議長・山室副議長が8月11日に特に被害が大きかった小国町を訪問。

また、熊本地震の際、延べ380名の職員を派遣頂いた芦北町には10月2日に熊本県町村議会議員研修の際に“復興に役立てていただきたい”とそれぞれに義援金を贈呈しました。

今回の豪雨により被害にあわれた多くの皆様方にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を祈念申し上げます。



写真右から2人目 松崎 俊一 小国町議長  
右端 時松 昭弘 副議長



写真右から2人目 宮尾 秀行 芦北町議長  
右端 草野 安道 副議長